

第 2 回懇談会での 主なご意見

1 骨子案全体

(1) 全体について

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
内容はどの県でも当てはまってしまう。 <u>栃木県らしさや尖った施策が必要ではないか。</u>	「主な取組内容」を素案に記載（計画を基に個別事業を検討）
「 <u>稼いでよし</u> 」は <u>何で稼ぐのかが浮かび上がってくると良い。</u> 1個に決めなくても良いが、何らかのテーマを出すことによって、そのテーマに力を入れていく形になる。	主なターゲットの中で活用が考えられる観光資源等を記載
「 <u>住んでよし</u> 」に関連する施策が少ない。まずは現状把握として市民の観光に対する意識を捉える必要がある。また、観光産業による地域貢献（経済波及効果）を可視化していくことも考えられる。	基本戦略を基に個別事業で検討
<u>スピードの順列</u> じゃないが、例えば、これだったら1年以内に実行できる等の具体的な内容があると良い。	計画に基づき各事業ごとにスケジュールを検討

(2) ターゲットについて

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
ある程度 <u>ターゲットは決めた方が良い。</u> 現状を整理して、既存のお客を伸ばすか、新規のお客を獲得するのか。現実プラスアルファくらいでも良い。	主なターゲットを素案に記載
軸として国内をしっかりとやるのが栃木県は良いと思うが、その中で、 <u>インバウンドをどの程度まで伸ばすのか</u> ということだと思う。	

(3) 資料の修正・作り方等について

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
県の現状の原因について仮説を立て提示したほうが良いのではないかと。また、課題とそれに対しての戦略、打ち手がどう連携するのか整理をした方が良いのではないかと。	素案に記載
課題の中の戦略的なプロモーションの記載は課題というより打ち手の部分ではないかと。	課題から戦略的なプロモーションを削除
基本戦略3はデータではない施策もあるので、戦略的なプロモーションのような表現ではどうか。	リアルイベントについてもデータに基づきターゲットや出展場所等を検討することから、現在の案のままとしたい。
基本戦略1の持続可能な観光地づくりは、色々な事を行った結果としてそうなると思う。基盤強化のような施策が並んでいるので、 <u>持続可能な観光地域づくりとすることに違和感がある。</u>	観光庁においても持続可能な観光地づくりという表現を用いていることから、現在の案のままとしたい。
SWOT分析の脅威のところに入人口減少が入っていたが、首都圏がメインであれば、 <u>そこまで人口が減らないのではないかと。</u>	SWOT分析の脅威から人口減少を削除

2 基本戦略 1

(1) 人手不足・人材育成について

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
<p><u>未来の観光人材育成を入れられないか</u>。自分たちの街に対しての誇りと郷土愛を持つ子供たちの育成は大切だと思う。</p> <p><u>観光教育についても</u>、誇りを持つことが、その地域に「住んでよし」に繋がるので、<u>もう少し施策があった方がバランスが取れて良い</u>と思う。</p> <p><u>次世代を担う子供たちが</u>、自分たちの町に対して思いを持ち、誇れる。それが観光や人材という部分においても大きな課題解決の一助になると思う。</p>	<p>素案に記載した「主な取組内容」の中で次世代の人材育成を記載（個別事業でさらに検討）</p>

(2) アクセスについて

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
<p><u>アクセスが良いということは車での来訪も多く</u>、<u>2次交通があまり発達していかない面もある</u>。</p> <p><u>少ない補助金をもらってやっても</u>、<u>採算が取れないのであれば交通事業者は撤退を考えてしまう</u>。</p> <p><u>公共交通機関がすごく不便だと感じている</u>。当施設にはバスがもっとあれば行きたいという声も聞ある。</p> <p><u>大勢の観光客に来ていただいたために近隣の道路が渋滞で全く動かないことがあった</u>。</p>	<p>素案に「主な取組内容」を記載（個別事業でさらに検討）</p>

(3) 安心・安全について

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
どこの県でも同じような内容がある。 <u>どう具体的にやっ ていくのか</u> を考える必要がある。	素案に「主な取組内容」を記載（個別事業でさらに検討）

3 基本戦略2

(1) 連携について

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
栃木県の方々は、横の繋がりが強いと感じている。色々な事を言い合える仲の良さが他県との違いとしてあるのであれば、そこは思い切って計画に入れてみても良いのでは。	素案に「主な取組内容」を記載（個別事業でさらに検討）
冬場は閑散期と言われるが、繁忙期のところもある。 <u>ナイトタイムエコノミーや宿泊、そして周遊・回遊に繋がる部分をもう少し深掘りできると良い。</u>	
連携が不可欠だということは課題に入れているが、 <u>具体的な内容を落とし込めていない</u> 。連携は個々の自治体では難しいところもあるので何か案を出せると良い。	
連携も色々なパターンがあるが、 <u>宿泊施設同士の連携では、宿同士で競合になりやすいので、差別化する部分と共通でやる部分を作り、連携するパターンもある。</u>	

3 基本戦略2

(2) 滞在時間の長期化について

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
日帰り客が多いという話があったが、 <u>まずは来ていただいて、次は泊まってみたいと思わせる</u> ということも必要だと思う。	素案に「主な取組内容」を記載（個別事業でさらに検討）
単発ではなくて、 <u>他の地区の方と連携して回っていただけたら良い</u> 。	
「 <u>帰る旅</u> 」は面白いと感じた。ここをもっと詰めていけると良い。	
それぞれのエリアや事業者の特徴によって、 <u>強みや弱み等を可視化しながら、それぞれに補い合えるようなルート</u> を作って出すとよい。	

(3) 国際園芸博について

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
2027年の <u>国際園芸博覧会の機会を捉えた誘客を計画に明確化できると良い</u> 。	SWOT分析や「主な取組内容」に記載（個別事業でさらに検討）

(4) 閑散期対策について

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
冬季の観光客が少ないということだが、 <u>首都圏からのアクセスが良いところを強みとして何とかできれば良い</u> と思う。	素案に「主な取組内容」を記載（個別事業でさらに検討）
<u>冬を強化することで年間を通して安定して働く</u> ということにも繋がると思う。	

3 基本戦略2

(5) テーマツーリズムについて

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
<u>プロスポーツチームが多いので、栃木県に応援に来た人も観光に導くような部分があると良いのではないかな。</u>	素案に「主な取組内容」を記載（個別事業でさらに検討）
<u>家族や学びは、栃木県らしさを出せるのではないかな。インバウンドでも同じようなニーズはあるので、教育をテーマとすると、より繋げやすくなると思う。</u>	
<u>農泊に関して観光庁と農水省が連携するような動きが見られ、分散化というところでも注目をされている。コンテンツの1つとして入れていただけると良い。</u>	

4 基本戦略3

(1) プロモーションについて

第2回懇談会でのご意見等	今後の対応
リピーターや冬への誘客は、最後は口コミが強い。DM、SNS等を活用して次の魅力をちゃんと繋げられるような仕組みを作っておくことが大事だと思う。	素案に「主な取組内容」を記載（個別事業でさらに検討）
AIを活用したプロモーションでは、最近チャットGPTからホームページ等に入ってくるパターンが増えている。旅行者の行動等を意識しながら、 <u>どうマッチングさせるのか</u> を徐々にやっていく必要がある。	
AIがレコメンドしてくるような状態はすぐにはできない。まずは <u>地域ならではの独自情報や更新性が高い情報、イベント情報等をSNS対策も含めてデジタル上に出していく必要がある。</u>	